

ソーシャルワーカーの職業像に関する研究
—児童福祉司を描いた漫画作品を題材として—

国際こども・福祉カレッジ・田中秀和

【背景】

ソーシャルワーカーは、社会福祉学を学問基盤とした対人援助専門職のひとつである。日本においては、1987（昭和62）年に社会福祉士及び介護福祉士法が成立し、社会福祉士がソーシャルワーカーの国家資格であるとされている。しかし、「ソーシャルワーカー」や「社会福祉士」は、一般の人々が身近に接する機会の少ない職業であり、その職業像を伝えるのは困難である。

このような中、近年においては「ソーシャルワーカー」や「社会福祉士」を扱ったテレビ番組や文芸作品等も登場し、それらに対する学問的関心も高まりつつある。^{1) 2) 3) 4)} 本稿では、ソーシャルワーカーを描いた漫画作品を研究対象とし、そこで描かれている職業像を考察する。

【方法】

ソーシャルワーカー（児童福祉司）を描いた漫画作品「ちいさいひと-青葉児童相談所物語」の単行本1・2巻において描かれた当該職業の職業像をソーシャルワークの専門の見地から分析した。^{5) 6)}

【結果】

児童福祉司は、児童福祉領域におけるソーシャルワーク専門職であり、「児童相談所長の命を受けて、児童の保護その他児童の福祉に関する事項について、相談に応じ、専門的技術に基づいて必要な指導を行う等児童の福祉増進に努める」（児童福祉法第13条第3項）と規定されている。児童福祉司の任用資格は6種類あるが、そのなかのひとつに社会福祉士が明記されている（児童福祉法第13条第2項）。社会福祉士は業務独占ではなく、名称独占の資格であるため、その職域拡大が求められているが、児童福祉領域において、社会福祉士が必置の機関・施設は今日において依然皆無である。

このような中においても、児童福祉司はソーシャルワーカーであることに相違はなく、それが少年漫画の題材として扱われたことは、将来当該職業を担う者を確保する視点からも意義あることといえるであろう。

今回取り上げた作品は、「週刊少年サンデー」に不定期掲載されているものであり、当作品の主人公は、青葉市（架空）に福祉専門職と採用された新米児童福祉司である。主人公自身が児童虐待を受けたサバイバーであり、里親に育てられた経験をもつ。

作品内では、「児童福祉司って、何をする人？」とのタイトルでコラムもあり、当該箇所には、児童福祉司がソーシャルワーカーと呼ばれていることと、ひとりの児童福祉司が担当す

るケースが欧米よりはるかに多く、配置人数が足りていない旨の記載がある。

【考察】

作品内では、主人公はどのような養成教育を受けたかについては不明である。また、本作品においては、ソーシャルワーカーの国家資格である社会福祉士についても触れられていない。フィクション作品において、当該職業の養成教育プロセスを明示する必要性は本稿で取り上げた先行研究の中でもたびたび指摘されている。

丸田は、児童相談所におけるソーシャルワークの機能を検討する中で、児童相談所からソーシャルワーク機能が消滅するのではないかと危惧を表明しているが、このような指摘からも改めて、その専門性を磨く必要性が再確認できるであろう。⁷⁾

【結論】

メディアに取り上げられる機会が少ないソーシャルワーカーを主人公とし、その活躍を描かれていることは、将来の人材確保の点からも望ましいと考える。一方、ソーシャルワーカーの国家資格である社会福祉士が記載されていないなどの課題も発見された。

社会福祉士等のソーシャルワーカーは、その専門性を高め、職域拡大の努力が必要である。同時に、社会福祉政策として社会福祉士の必置を進めることが望まれる。

【文献】

- 1) 横山豊治：ソーシャルワーカーを描いたフィクション作品に関する一考察-医療ソーシャルワーカーを描いたテレビドラマの事例検討-, 新潟医療福祉学会誌 3(2):pp89-98,2003.
- 2) 田中秀和：医療ソーシャルワーカーを描いたノンフィクション番組に関する一考察, 新潟医療福祉学会誌 8(2):pp30-34,2008.
- 3) 横山豊治：フィクション作品におけるソーシャルワーカー像の検討-MSW を主人公に描いた4作品を通して-, 医療ソーシャルワーク研究 1(1):pp24-36,2011.
- 4) 横山豊治：フィクション作品に描かれる MSW の働き, 病院 71(3):pp225-228,2012.
- 5) 夾竹桃ジン：ちいさいひと-青葉児童相談所物語 1, 小学館.2011.
- 6) 夾竹桃ジン：ちいさいひと-青葉児童相談所物語 2, 小学館.2012.
- 7) 丸田秋男：児童相談所におけるソーシャルワーク機能の検討, 新潟医療福祉大学社会福祉学部編 社会福祉の可能性. 相川書房. 東京. pp43-55,2011.